

〔三代實錄五〕仁和三三年六月二日申辰伊賀略○中 丹後略○中 土佐等十九國貢絹、龜惡特甚、不如昔日、

勅詔國宰探取正倉舊樣絹、每國賜一疋、依舊樣作、

〔官中秘策四〕丹後國 五郡略○中

一人數十三万四千四百七拾六人、内六万八千七百七拾八人 女男

〔吹塵錄五〕諸國人數調略○中

御料私領 一人數拾四万七千四百三人

弘化三丙 内七万四千八百五人 女男

御料私領 諸國人數調略○中

一人數拾五万四千三百八人

丙七万六千七百七人 女男

高拾四万七千六百拾四石餘 丹後國

〔人國記〕丹後國

風俗

丹後國ノ風俗、上下男女共ニ千人萬人之内ニ過テモ、一人モ好人稀也、氣質不直而氣弱ク、勇氣寡ク、實寡ラ而、我邪智有テ、聊モ取リテ可用様ナク、唯隼鷹ノミヨシ、人ハ氣質直ナレバ勇氣ナク、勇氣ナレバ邪智有、亦愚智也、實アレバ氣不叶、兎角舉テ難用國也、是レ根本水土ノ不然所以也、

名所

〔日本鹿子十一〕同國後○中 中名所之部

與謝海 吹井浦 郡の名與謝といふあり、此郡のうちに入海あり、是を與佐の入海といへば、與

佐の海といふは、此郡のうちの浦をさのごとくよびはべると見えたり略○中

内外濱略○中 與佐、大山略○中

天橋立 神代九世にあたりて出来る間、九世戸とも云也、文珠の御座所と丹後の府との中間也、

東西遠サ一里也、南北は海也、橋立の東よりに三町ばかり舟渡あり、北より南へ是を入海といふ、